

(法 第10条関係)

設 立 趣 旨 書

1 趣旨

「ふくしま浜街道トレイル」は福島県浜通りに位置するロングトレイルです。

東日本大震災からの復興がいまなお進むこの地域に、多くの人々の力が結集して 2023年9月に、このトレイルは誕生しました。いわき市の勿来から新地町までつなげて歩くとその距離は200 km超に及びます。

さらに宮城県以北、青森県までつづく「みちのく潮風トレイル」と接続することで総距離は1200 kmを超え、被災地域を広くつなぐ復興の道としてはもちろん、国内のロングトレイルの象徴的な道として、歩く文化の発展を牽引していく存在になります。

ロングトレイルは新たなツーリズムの形として、国内外で近年注目を集めています。車や電車での移動とは違う、歩く速度での観光は、めまぐるしい日々の生活では見過ごしがちな地域への気づきを与えてくれます。自然・環境意識をはじめ、歴史や文化、そこに生きる人々の営み、さらには震災の記憶の継承など、その観点は多岐にわたります。さらに特徴である長い距離は、市町村の垣根をこえて人々をつなぎ、やわらかな交流を産み出します。皆で支え育てる道として、地域への誇り、愛着を育むことが期待されます。

その長さゆえですが、複数の行政区をまたぐ性質上、管理者である公共機関による持続的な維持管理がむずかしいことが課題です。そのため十分なサービスが提供できないまま、利活用が進まず、ロングトレイルの魅力や可能性が活かされない事例が多くみられてきました。

そのため持続的な維持管理には、公共機関に限らず、トレイル沿線の地域住民や民間を巻き込んだ協働の仕組みが大きなカギとなります。

わたしたちはその隙間を埋めるべく地域連携のハブとなって、道の整備、管理、情報発信を進めていきます。その結果、国内外の多くのハイカー（歩く人）に訪れてもらうことではじめて、ロングトレイルが上記のような魅力・可能性を発揮し、地域に活力を与える大きな存在となり得ます。

ふくしま浜街道トレイルの開通をきっかけに、いよいよその役割が本格化してきました。これを機に社会からの信頼を得て、より多くの組織や人々と連携を深めていくためにも、任意団体に法人格を与えることが必要と考えます。よって、ここに特定非営利活動法人として設立を発起し、申請します。

2 申請に至るまでの経過

- ・令和6年1月21日 任意団体ふくしま浜街道トレイルアソシエーションを設立
- ・令和6年1月～11月 特定非営利活動法人設立のための打ち合わせ：10回開催
- ・令和6年11月1日 設立総会開催

令和6年11月1日

特定非営利活動法人

ふくしま浜街道トレイルアソシエーション

設立代表者 住所又は居所

氏名

中島 悠二

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。